

# 都知事選 今後の政治変える力に

## 蓮舫さん奮闘

7日投開票された東京都知事選。「オール東京」で勝利をめざした蓮舫前参院議員は大奮闘したものの及びませんでした。



握手を交わす蓮舫さん(左)と小池晃書記局長(右) 東京都千代田区

## “共産党で票逃げた” 連合会長発言 根拠なし

選挙戦では、「ひとり街宣」がほぼすべての駅などで行われ、SNS上で多くの著名人が蓮舫氏支持を表明しました。共産党の小池晃書記局長は「こうした広がりや日本の民主主義の力を示すものとして、今後の東京と日本の政治を変える上で必ず大きな力となると確信している」と語りました。

連合の芳野友子会長が「共産党が前面に出すぎ、逃げた

票があったのではないかと述べたことについて小池氏は、「看過できない。何を根拠にいうのか」と批判しました。

立民の手塚仁雄都連幹事長は「共産の皆さんには感謝の思い以外いっさいない」、長妻昭都連会長は芳野発言を受け「私はそういう考えではない」と明言しています。小池氏は「選挙をたたかった人たちは芳野氏とは全く違う見方だ」と反論しました。

# 683 地方議会が意見書

国連会議 採択7年



広島市・原爆ドーム

## 核兵器禁止条約に参加を

## 日本共産党

核兵器禁止条約が2017年7月に国連の会議で採択されて7年。日本政府が条約に背を向けるなか、政府に条約参加を求める地方議会の意見書(趣旨採択を含む)が683に達し、全1788議会の38%を超えました(4日現在)。

近畿6府県で採択された議会の割合は、滋賀35%、京都33%、大阪23%、兵庫31%、奈良43%、和歌山32%。

6月26日に全会一致で可決した兵庫県丹波市の意見書は「核兵器禁止条約の規範力を強化し、核兵器の使用を防ぐことが強く求められています」と強調。「原爆被害を体験した日本の政府は、核兵器の使用を許さず、核兵器を全面的に禁止させる先頭に立たねばなりません」と訴えています。

## 被爆80年へ政府は決断を

史上初めて核兵器を違法とした核兵器禁止条約。ロシア・プーチン大統領による核使用の威嚇など緊

迫した状況の下で「希望の光」です。唯一の戦争被爆国・日本は条約に署名・批准しておらず世界の失望を買っています。来年は被爆80年。参加へ決断が求められています。

### 総選挙 近畿の比例名簿掲載予定者

### 日本共産党



たつみやま 元参議院議員 新



堀川あきこ 党本部副委員長・新 (京都2区補選)



清水ただし 衆議院議員(期前) (大阪4区補選)



こむら 潤 元岡崎市議 新 (兵庫8区補選)

制度解説

衆院選挙 投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と書きます  
選挙区は「候補者の名前」で

政党名を  
と書きます  
衆議院比例代表は政党名で投票します。参議院と違い個人名は無効です。



▲紹介動画

## 近畿民報

2024年7月No.3(第610号) 発行/日本共産党国会議員団 近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号 Tel.06 (6975) 9111 Fax.06 (6975) 9115 Eメール: jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。

# 爆発事故

## 協会の責任認める

山下<sup>参院議員</sup>に内閣府「業者が…」改める

内閣府国際博覧会推進本部はこのほど、大阪・関西万博の会場予定地で発生したメタンガスによる爆発・火災事故の責任が主催者の万博協会にあると認める文書を日本共産党の山下よしき参院議員に提出しました。施工業者に責任があるとの従来の政府見解を百八十度改めたものです。

山下氏に提出された文書（1日付）では経産



夢洲1区の爆発現場  
万博協会提供

省の監督責任とともに、「万博協会が中心となり、会場における労働者及び来場者の安全対策を講ずる責任がある」と初めて認めました。

山下議員は「文書を出したことは重要だ。しかし会場予定地の廃棄物処分場はいまだに稼働中。万博開催は中止し、子どもを動員する計画も撤回すべきだ」と話しています。

## 万博 開催の問題点次つぎ

万博は、メタンガス爆発の危険のほかにも、このまま開催するわけには  
いかない事態が次つぎ明らかになっています。

## 日本共産党

### 会場建設費・運営費 膨張止まらず

一つは国民負担。昨年11月、会場建設費を倍増の2350億円と発表。その際、コスト縮減がいわれたのに、各工区で合計116億円膨張しました。各国が独自に建設する海外パビリオンの遅れから、協会が「簡易型(タイプX)」を9棟建設したものの選択する国が少なく、日本側が最大77億円負担することに。

運営費では、チケット売り上げ不振のため電子チケットに加えて紙チケットの導入を決定。これにより事務経費21億円が必要に。

### 熱中症・落雷 夏のリスク深刻

熱中症や落雷など夏のリスクも深刻。学校行事として貸し切りバスで来場する児童・生徒は、バスの乗降場から会場入り口まで炎天下1キロ近く歩かねばならず、低学年なら30分といわれています。

夏の大阪の雷日数は8月だけで7日に。万博協会は、大屋根リングの上や会場内の樹木のそばに人がいると雷が飛び移る危険性があるとし、催事場など多数の来場者が集まる屋外施設の落雷の危険性も高いと想定しています。

## 首相飲み食い

### 年間66回

岸田首相の最近の夜の会食

- 6月18日 東京・虎ノ門のホテル内の日本料理店「山里」で麻生太郎副総裁
- 24日 東京・西大井のニトリHDの迎賓施設「志高荘」で似鳥昭雄会長、岸田派幹部
- 25日 東京・内幸町のホテル内の鉄板焼き店「嘉門」で麻生副総裁
- 7月1日 東京・紀尾井町のホテル内の日本料理店「千羽鶴」で榊原定経経団連名誉会長ら財界人
- 3日 東京・丸の内ホテル内の宴会場「芙蓉」で松本正義関経連会長ら関西財界人

「政治にコスト」というが…

岸田首相は「政治にはコストがかかる。すべて禁止し、現実を見ることがない案であってはならない」（6月19日の党首討論）などといって、企業・団体献金禁止に反対しました。

ところが首相の資金管理団体「新政治経済研究会」（2022年）の収支報告を見ると、「会合費」という支出が目立ちます。その中身は東京・日本橋の懐石料理店（93万7992円）などグルメ三昧。計66回で総額1923万2824円もの飲み食いをしていたこととなります。

麻生副総裁とは2週連続、榊原定経経団連名誉会長ら財界人との会食なども目立っています。